

波野でベビーリーフの生産 市と(株)果実堂が農業振興相互協力協定締結



WebTV アソ
動画



(上) 調印式で握手を交わす井出社長（左）と佐藤市長。
(下) ベビーリーフを栽培するハウス

市は、大規模ベビーリーフの生産・販売を展開する株式会社果実堂（井出剛代表取締役社長）との間に、「農業振興及び地域の発展に関する相互協力協定」を結び7月3日、市役所で調印式を行いました。

協定は、波野地域の冷涼な気候に適した施設園芸農作物の推進として、(株)果実堂との連携により生産施設の導入や農業担い手の確保、育成など農業振興を図っていくものです。

調印式で井出社長は「高冷地にある波野は夏でも冷涼で水も豊富。間違いなく熊本の農業の集積地になると確信している。時間をかけて着実に大きくすると同時に、それと同時に技術向上を図っていくことが大事」と意欲を語りました。

今後、波野地区の茶臼塚団地0・8haの農地にベビーリーフ施設を導入し、年間50トンを目標に生産していく予定です。

電動自動車を観光の新たな交通手段に 阿蘇駅前レンタカー配備し実証実験



WebTV アソ
動画



超小型電動自動車に乗るくまモン。

市は、熊本県及び本田技研工業(株)とともに7月1日、超小型電動自動車を活用した社会実験をスタートさせました。

JR阿蘇駅構内でレンタカー事業を行うJR九州レンタカー&パーキング(株)が運営し、観光客に有償で貸し出し、公共交通機関の新たな手段になりえるかなどを検証するものです。実験期間は11月末日まで。電動自動車は2人乗りで航続距離は80キロ走行できます。

JR阿蘇駅前で行われたスタート式で、JR九州レンタカー&パーキング(株)の福嶋和彦社長は「これから夏に入り、さわやかな阿蘇をレンタカーに乗って楽しんでほしい」とあいさつ。駆け付けたくまモンも、超小型電動自動車に実際に乗り込み、PRしていました。

地域の安全は私たちに任せて！ 阿蘇西小ジュニアパトロール隊発足



阿蘇西小6年生の皆さん

阿蘇西小学校は地域の安心安全を守るジュニアパトロール隊を結成し6月25日、岡崎英夫阿蘇警察署長から委嘱状と認定証の交付を受けました。

子どもも目線で安全な地域づくりを目指すのがねらいで、小学生を対象にした試みは県内で初めてとのこと。交付を受けた児童は「家庭や地域の方々へ安全に暮らせるように頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

災害記録誌を市に寄贈



阿蘇市を拠点にボランティア活動を行う「災害NGO結」代表の前原土武さんが、一昨年の九州北部豪雨災害の記録誌を作成し7月7日、阿蘇市に寄贈しました。

前原さんは、東日本大震災を始め、災害時の復興支援の経験を生かし、災害発生直後から阿蘇市を拠点にボランティア活動を展開。記録誌には被災者の生の声を届けようと29人のメッセージのほか防災に関する解説などを分かりやすく掲載しています。

「復興にこれまで関わった全ての人たちの協力で作りました。多くの方々に見てもらいたい」と前原さん。記録誌は市内店舗で販売するほか、各図書館に設置し、誰でも閲覧することができます。

●問い合わせ 災害NGO結
(前原) ☎ 080-3822-7082

土砂災害防ぐ大きなダム見学 坂梨小児童が防災学習

ダムに登り、県職員から説明を受ける児童たち。



坂梨小学校は6月12日、一昨年の豪雨災害により大きな被害のあった福岡地区の砂防堰堤工事現場を訪れ、防災学習を行いました。

小学3年から6年生の児童44人は、県職員から豪雨災害での被害状況や砂防ダムの仕組み、効果などについてパネルなどを使い説明を受けました。完成した幅168㍎、高さ11・5㍎のダムに登った児童は、大きく崩れた山肌など被害の現場を目の当たりにし驚いたようでした。児童は「災害の時は怖かったけど、このダムを見て坂梨地区は大丈夫だと思った」と話していました。

ご夫婦元気に「結婚75周年」祝う

坂田政男さん・千鶴子さん夫妻



WebTV アソ
動画

宮地の坂田政男さん（99歳）と千鶴子さん（97歳）の結婚75周年と、政男さんの白寿を祝う会が7月9日、市内のホテルで行われ、親族などたくさんの方々から祝福が贈られました。海外から駆け付け付けた親族もあり久々の大集合にお二人も感激のようでした。

坂田さん夫妻は昭和14年に結婚。門前町通りに旅館「東加久」を営まれ、昭和の阿蘇への観光旅行ブームを支えるとともに地元の方々にも親しまれる旅館として頑張ってきた。その後健康に恵まれ来年100歳を迎える政男さん。次世代へ望むことの質問に「この自然景観を活かしてほしい」と力強く語られました。



親族とともに記念撮影をする坂田さん夫妻（下段中央）

水難事故に遭ったときのために

消防署員がボランティアで小学生に指導

阿蘇広域行政事務組合消防本部の職員は7月、水難事故が多い夏休み前に注意を促そうと市内小学校を廻り実践指導を行いました。水の怖さや水難事故に遭ったときの対処法を伝えようと数年前からボランティアで実施しているものです。

7月14日には尾ヶ石東部小学校で指導にあたり、ペットボトルを浮輪替わりに使う方法や、実際に洋服を着用したまま泳ぐ「着衣泳」などの指導にあたりました。



ペットボトルで浮かぶ方法を学ぶ児童たち

消防署では「海や川で遊ぶときは保護者と一緒に遊ぶようにし、浮輪やロープを事前に準備することが大切」と注意を呼びかけていました。

気持ち込め復興支援コンサート



ハワイアン音楽などの災害復興支援コンサートが7月12日、介護老人保健施設『愛・ライフ内牧』で開かれ、約200人が音楽を楽しみました。

県内外で活動中の「スマイリー健&アロハ・スターハワイアンズ」をはじめ、フラグループ「カナニメケアロハ富永ハラウ」阿蘇教室、オカリナ&フルート奏者「YUMÉKO」、大道芸「明日香会」の皆さんが出演しました。開演前に2年前の甚大な被害を悼み全員で黙とうを捧げ、「教訓を忘れず皆で頑張っていきましょう！」とコンサートを開始。生演奏のハワイアン音楽をはじめフラダンスや歌、大道芸が披露されると、本格的な演出に皆さん大変喜ばれました。